

線の消し方を覚えよう



Before 2-04.clip

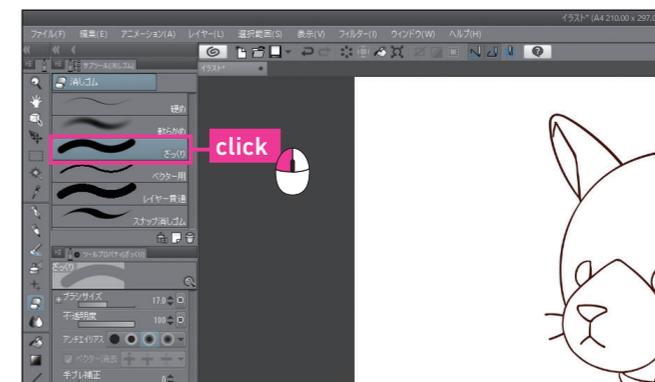


After 2-04a.clip

描いているときにはみ出した線は、[消しゴム]ツールを使って消すことができます。消したい線に合わせて[消しゴム]ツールの設定を変えながら修正する方法を覚えましょう。

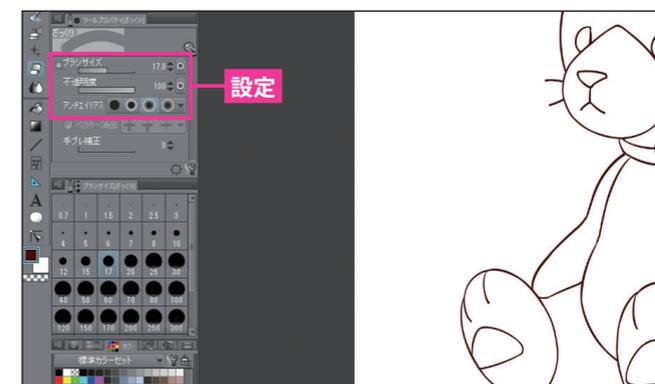
2

[サブツール]パレットから消しゴムの形状を選択します。ここでは「ざっくり」を選択しました。



3

[ツールプロパティ]パレットでサイズや不透明度などを変更し、描きやすいように調整します。

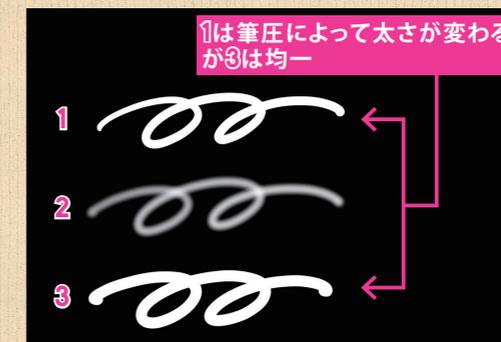


Column

消しゴムツールの種類

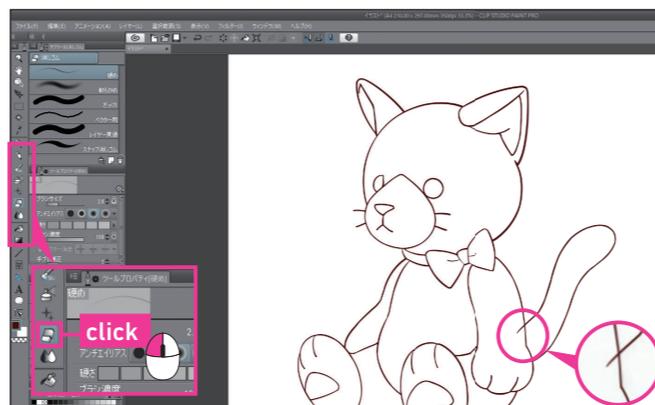
[消しゴム]ツールに用意されているサブツールは以下の通りです。上の3つは形状の違い、下の3つは用途の違いがあります。

項目	概要
1 硬め	硬くはっきりとした形状
2 軟らかめ	軟らかくふんわりした形状
3 ざっくり	太さが均一なのでざくざく消せる
4 ベクター用	ベクターレイヤーに描いた線をきれいに消せる
5 レイヤー貫通	選択しているレイヤーだけでなく、その下にあるレイヤーも貫通して消せる
6 スナップ消しゴム	定規やグリッドにスナップする(吸着する)ように消せる



Step 01 はみ出した部分を消す

図のような小さなはみ出しは[消しゴム]ツールで消します。[ツール]パレットの[消しゴム]ツールをクリックします。



合成モードを使って塗り分けよう



Before 3-04.clip



After 3-04a.clip

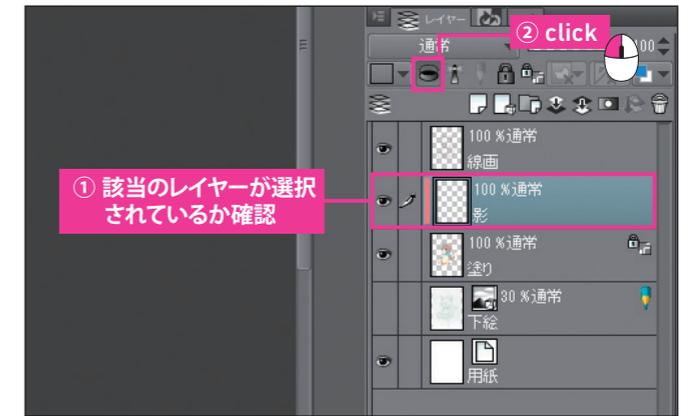
レイヤーの合成モードを変更して効果的に塗り分けましょう。

2

[レイヤー]パレットの[下のレイヤーでクリッピング]をクリックします。

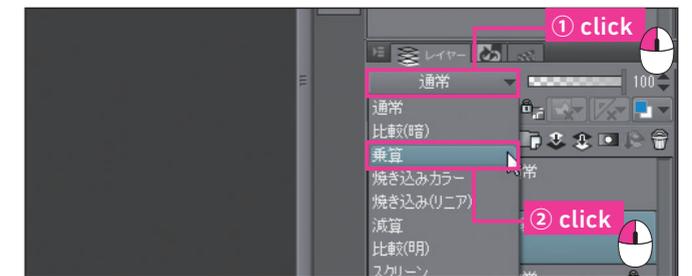
Memo

クリッピングすることで、「塗り」レイヤーに描いてある部分からはみ出さずに塗ることができます。クリッピングしたレイヤーには赤い線が表示されます。



3

「影」レイヤーの合成モードを[乗算]に変更します(p.73のColumn参照)。



4

[カラーサークル]パレットで影の色を選択します。ここではグレーを選択しました。

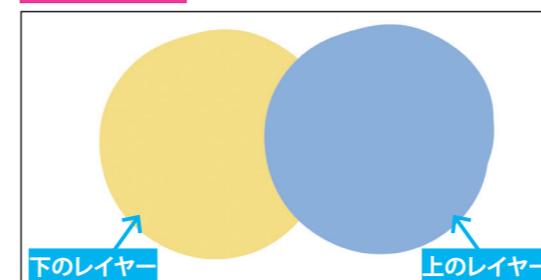


Hint

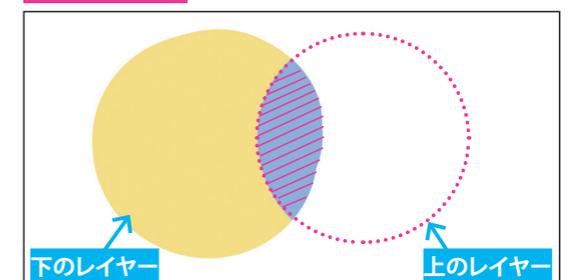
クリッピングの利用

クリッピングをすると、ひとつ下のレイヤーに描画されている部分からはみ出さずに塗ることができます。

クリッピングなし

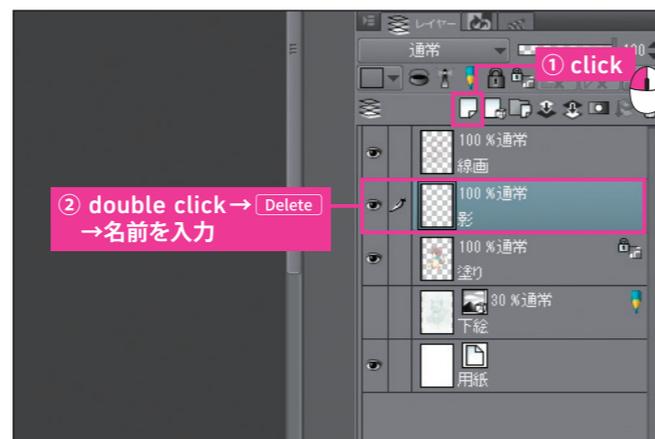


クリッピングあり

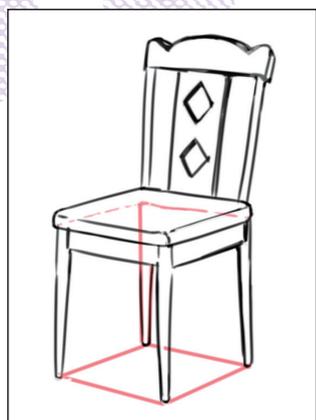


Step 01 [乗算] で影を入れる

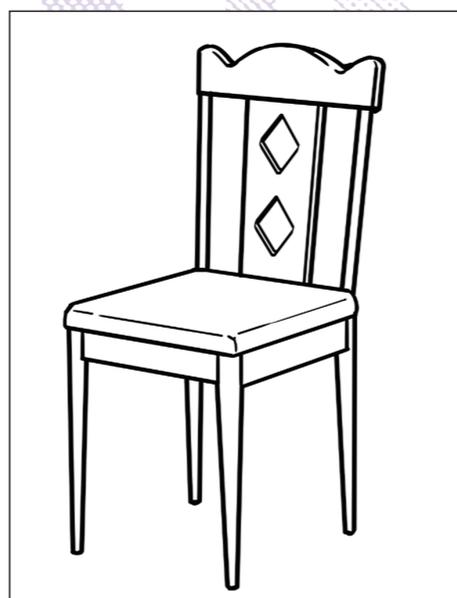
「塗り」レイヤーの上に影を描くレイヤーを追加します。
レイヤー名を「影」とします。



パース定規を使って描こう



Before 4-05.clip



After 4-05a.clip

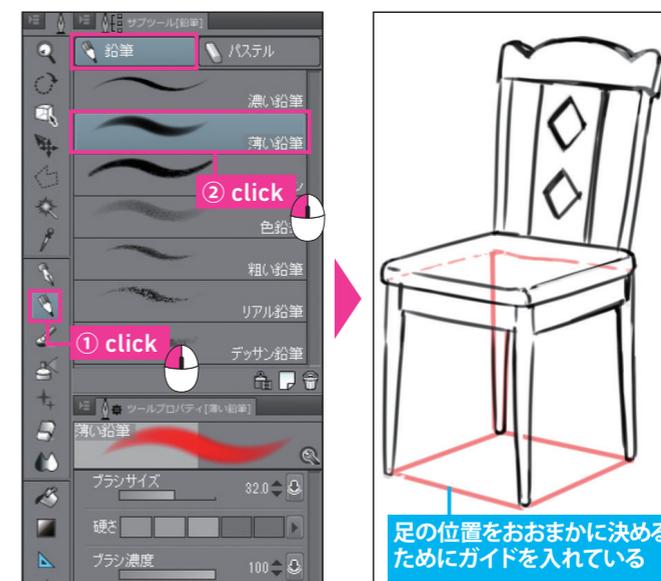
パース定規を使って二点透視図法のイラストを描いてみましょう。

2

「下絵」レイヤーに大雑把に下絵を描きます。
ここでは[鉛筆]ツール \square の[薄い鉛筆]を使っています。
「ガイド」レイヤーに赤でアタリも描いておきます。

Memo

下絵とガイドを用意できない場合は、「4-05.clip」ファイルを使用しましょう(ファイルについてはp.5参照)。



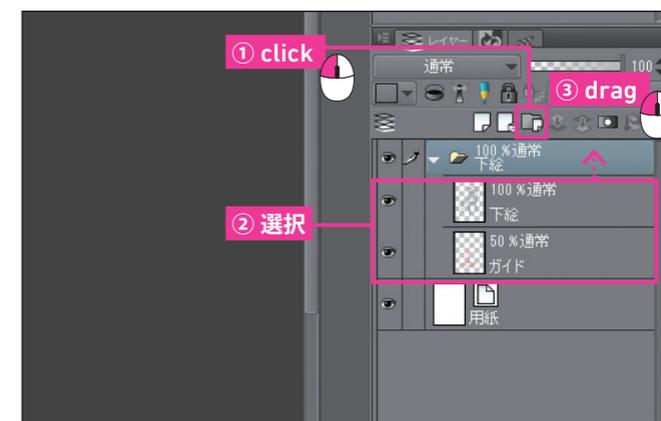
足の位置をおおまかに決めるためにガイドを入れている

3

「下絵」と「ガイド」レイヤーをレイヤーフォルダー(「下絵」レイヤーフォルダー)を作成してまとめます。

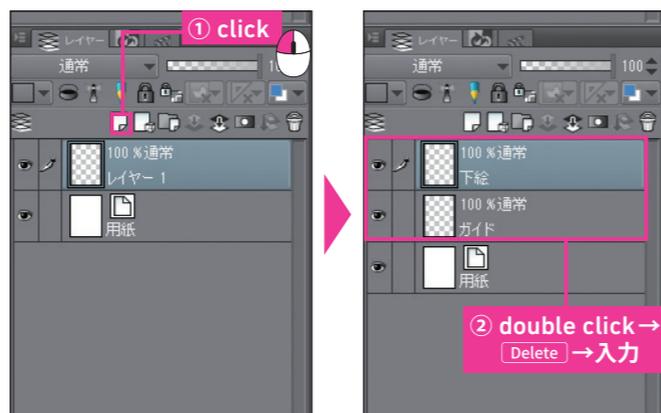
Memo

Shift キーもしくは Ctrl (command) キーを押しながらクリックすると、複数のレイヤーを選択できます。



Step 01 下絵を描く

新規キャンバスを用意します。
ラスターレイヤーを追加し、2つのレイヤーに名前を付けます(ここでは、「下絵」、「ガイド」レイヤー)。



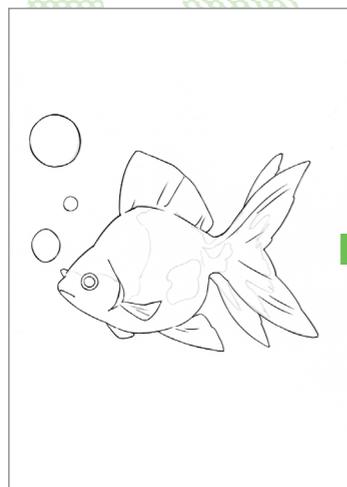
② double click → Delete → 入力

Step 02 パース定規を表示する

二点透視図法の定規を設定します。
[ツール]パレットから[定規]ツール \square をクリックし、[サブツール]パレットから[定規作成]の[パース定規]を選択します。



アニメ風に描いてみよう



Before 5-01.clip



After 5-01a.clip

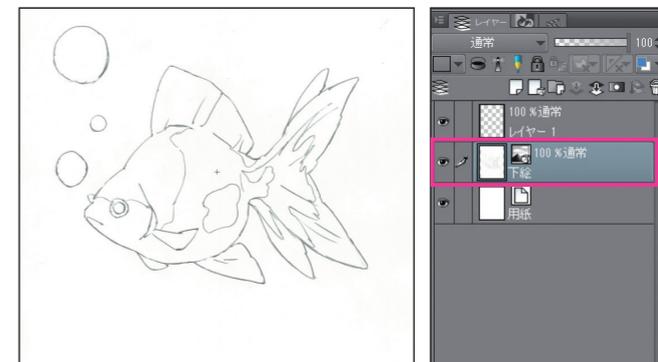
アニメ風のシンプルでメリハリのあるタッチで描いてみましょう。

Step 01 線画を描く

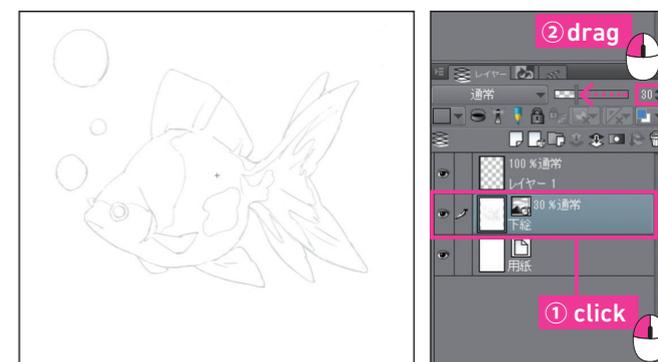
1 新規キャンバスを用意し、下絵を配置します。

Memo

新規キャンバスの作成についてはp.28、
下絵の配置方法はp.31を参照しましょう。



2 線画を描きやすいように、「下絵」レイヤーの不透明度を下げおきます。
ここでは「30%」にしました。



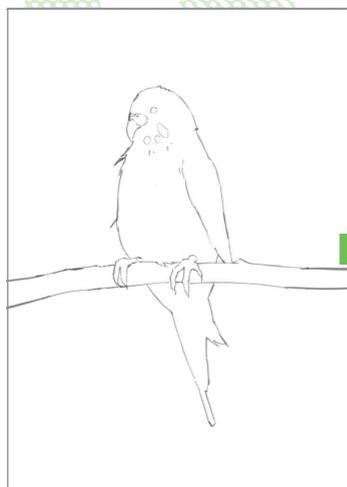
3 あらかじめ作成されているレイヤーを線画を描くレイヤーにします。
ここではレイヤー名を「線画」にしました。



4 [ペン]ツールをクリックし、[サブツール]パレットから[ペン]の[リアルGペン]を選択します。
ここではブラシサイズ「25pixel」、不透明度「100%」、手ブレ補正を「10」に設定しました。



水彩風に描いてみよう



Before 5-02.clip



After 5-02a.clip

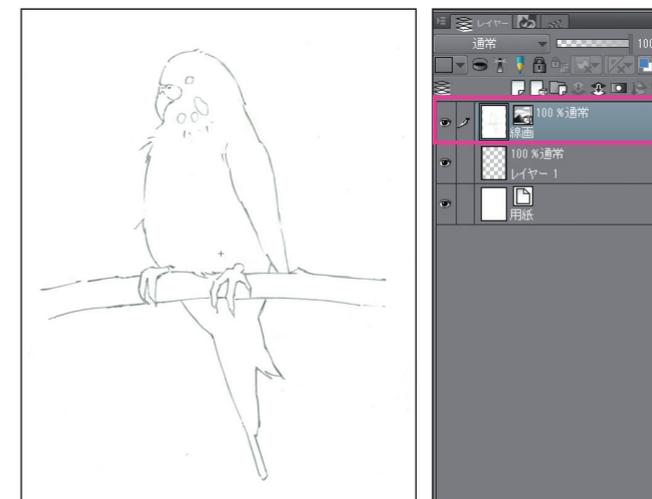
水彩風のタッチで透明感のある絵を描いてみましょう。

Step 01 線画をラスターレイヤーにする

新規キャンバスを用意し、下絵を配置します。

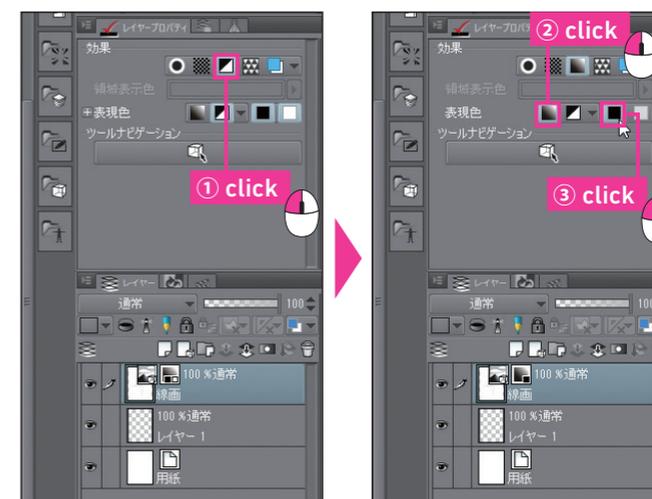
Memo

新規キャンバスの作成についてはp.28、
下絵の配置方法はp.31を参照しましょう。



2

[レイヤープロパティ]パレットの[減色表示] をクリックします。
[表現色]を「グレー」に設定し、[表現色を変更します]の黒色をクリックして白色のチェックを外します。

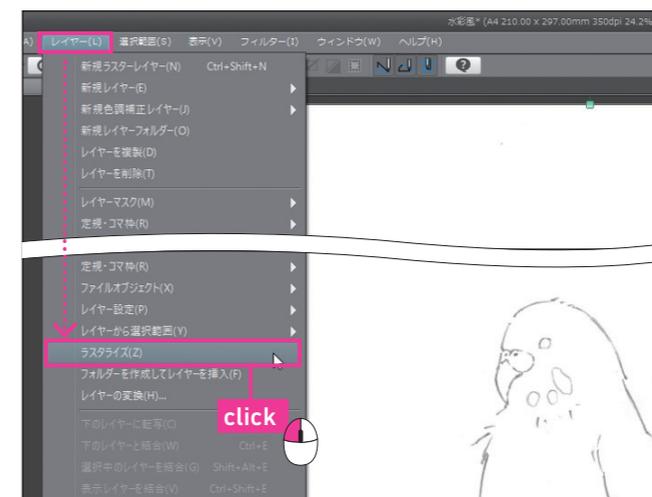


3

[レイヤー]メニュー→[ラスターライズ]の順にクリックし、オブジェクトをラスターレイヤーにします。

Memo

スキャンしただけではレイヤーの種類が[画像素材レイヤー]になっており、上から描いたり消したりの編集ができません。
[ラスターレイヤー]に変換してそういった編集ができるようになります。



色鉛筆風に描いてみよう



Before 5-03.clip

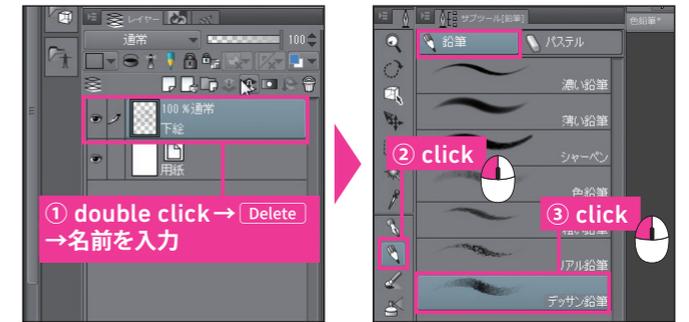


After 5-03a.clip

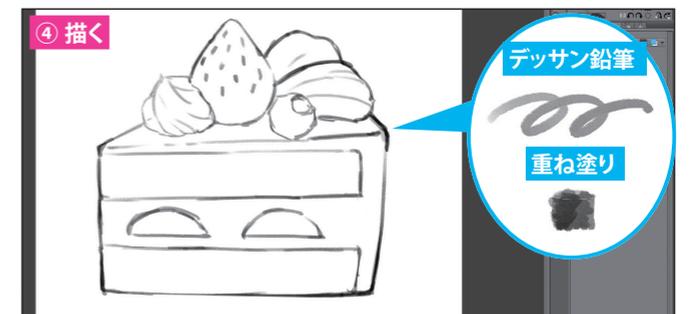
色鉛筆風のタッチでやさらかな雰囲気の絵を描いてみましょう。

Step 01 線画を描く

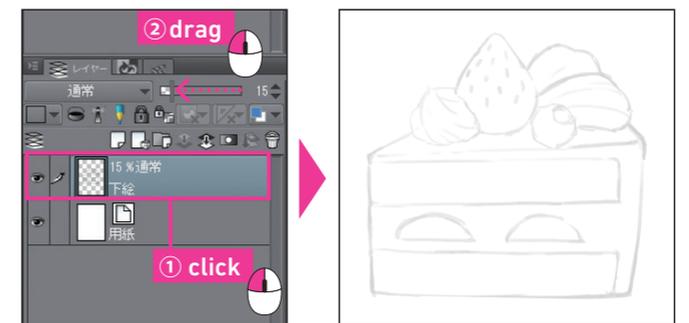
新規キャンバスを用意してレイヤー名を変更し(レイヤー名「下絵」)、下絵を描きます。
ここでは[鉛筆]ツール☞の[デッサン鉛筆]を選択していますが、最終的に非表示にするので描きやすいツールを使ってみましょう。



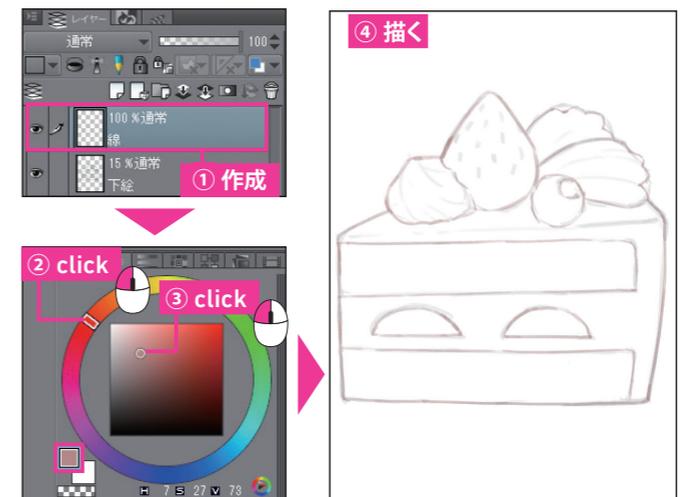
Memo
下絵が描けない場合は「5-03.clip」にも用意しています。
新規キャンバスの作成についてはp.28、
下絵の配置方法はp.31を参照しましょう。



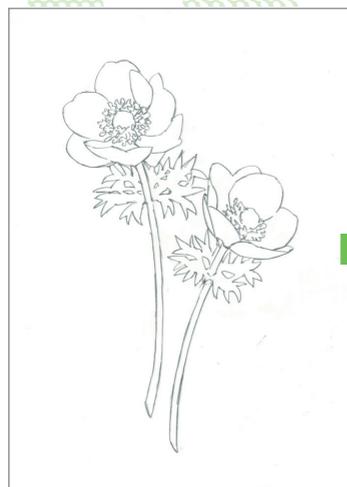
2
下絵ができたら線画を描きやすいようにレイヤーの不透明度を下げます。
ここでは「15%」に設定しました。



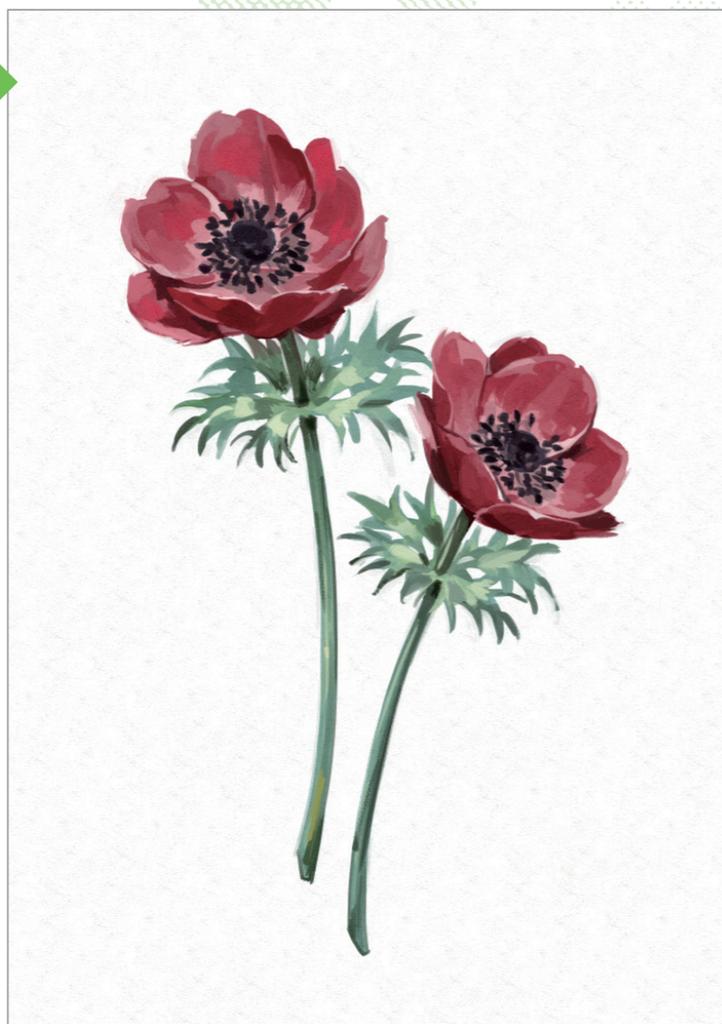
3
線画を描くレイヤーを「下絵」レイヤーの上に用意し(「線」レイヤー)、[鉛筆]ツール☞の[デッサン鉛筆]で下絵をなぞって線画を描いていきます。
[カラーサークル]パレットからやさしい茶色を選びました。



油彩風に描いてみよう



Before 5-04.clip



After 5-04a.clip

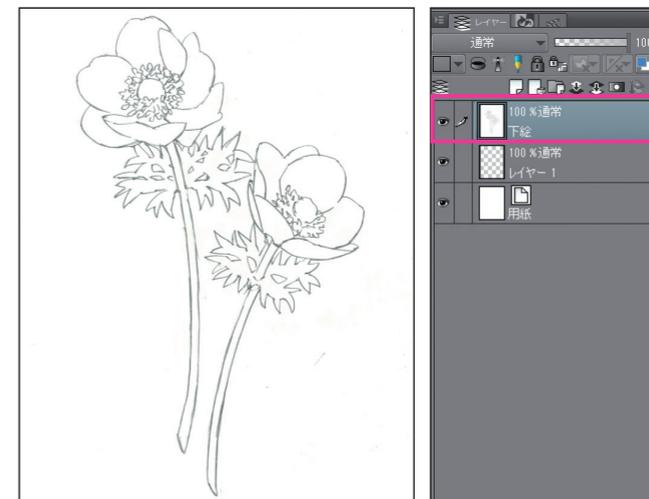
油彩のタッチで厚みのあるイラストを描いてみましょう。

Step 01 下絵を配置する

新規キャンバスを用意し、下絵を配置します。

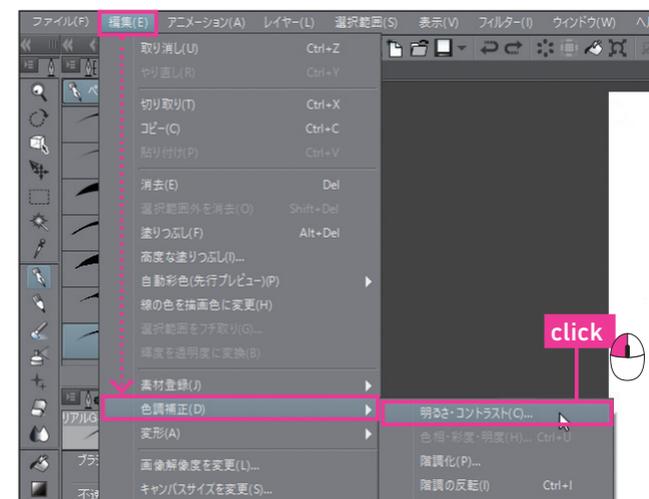
Memo

新規キャンバスの作成についてはp.28、
下絵の配置方法はp.31を参照しましょう。



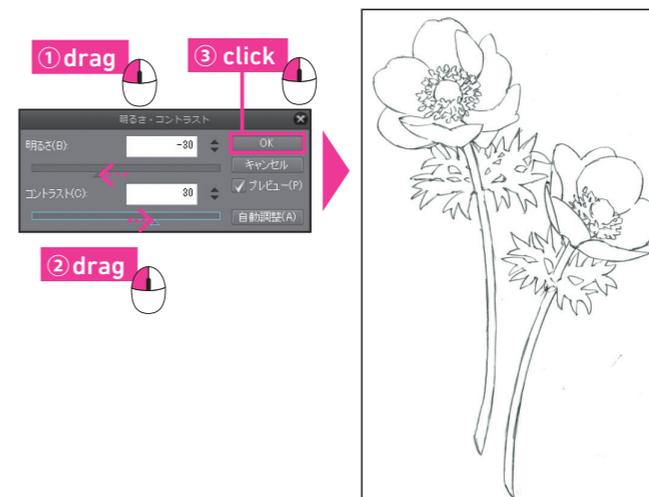
2

スキャンした下絵が薄くて見にくい場合には、明るさとコントラストを調整して見やすくします。
[編集]メニュー→[色調補正]→[明るさ・コントラスト]の順にクリックします。



3

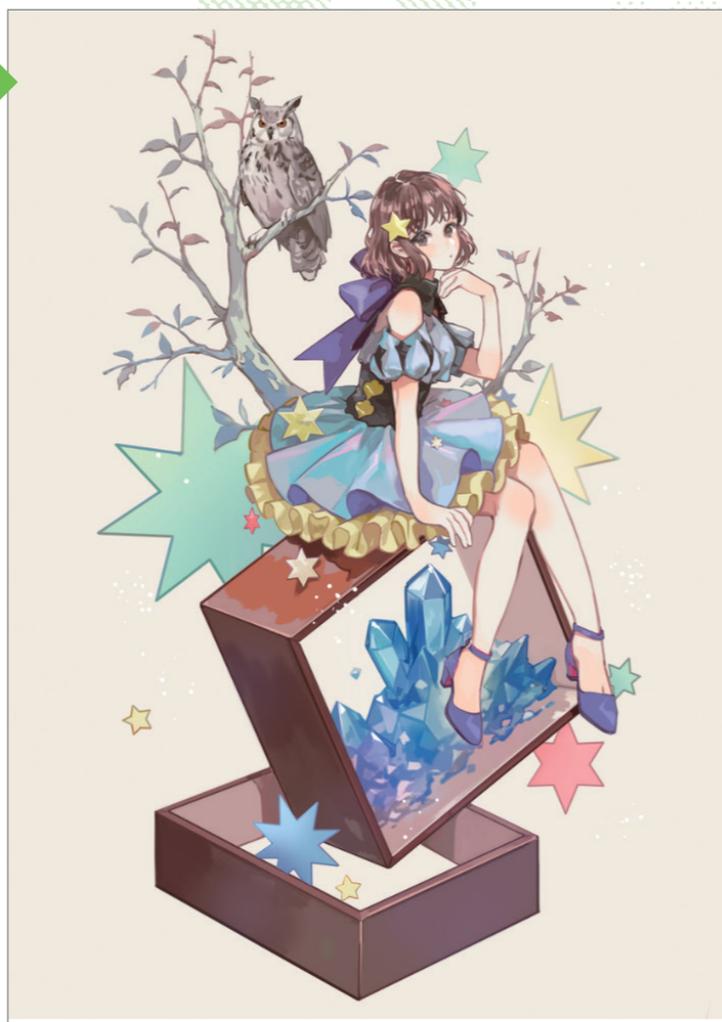
[明るさ・コントラスト]ダイアログが表示されるので、それぞれのバーを左右に動かして見やすいように調整します。
ここでは[明るさ]のバーを左側に、[コントラスト]のバーを右側に動かして、下絵の線が濃くはっきり見えるように調整しました。



作品を描く：メイキング



Before 5-05.clip



After 5-05a.clip

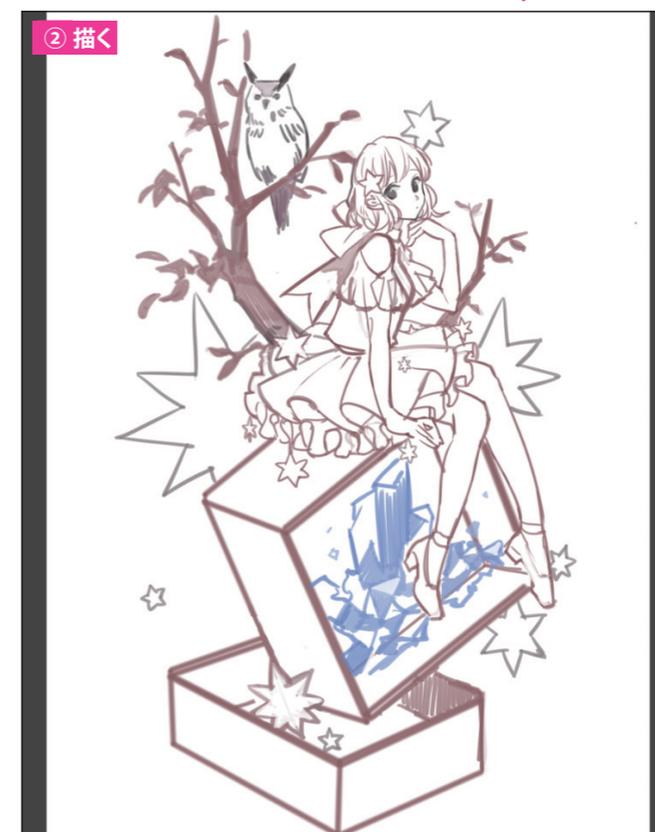
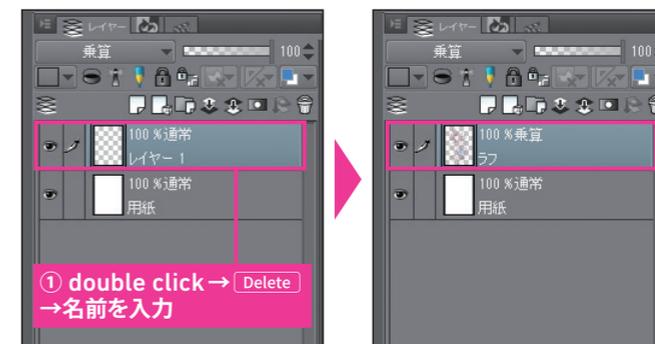
ここでは、これまで操作してきたツールや機能を活用し、1つの作品を仕上げる工程を解説します。

Step 01 ラフを描く

新規キャンバスを用意してレイヤー名を変更し(レイヤー名「ラフ」)、ラフを描きます。大まかな配置や構図をここで決めてしまいます。

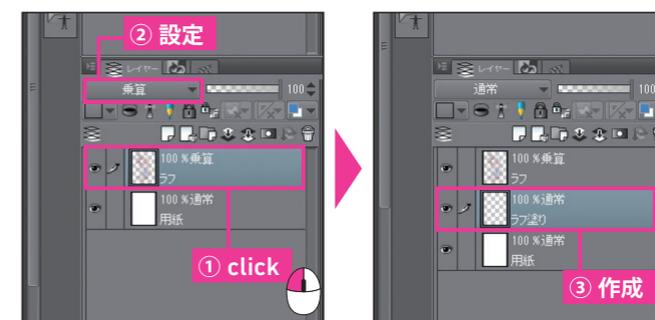
Memo

本書で描いたラフは「5-05.clip」にも用意しています。
新規キャンバスの作成についてはp.28、
下絵の配置方法はp.31を参照しましょう。



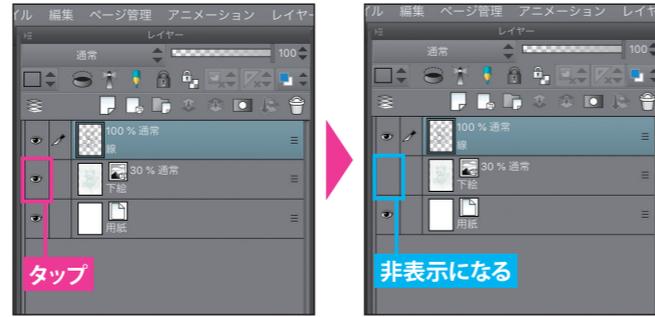
2

描いた「ラフ」レイヤーの合成モードを[乗算]にします。
塗り用のレイヤー(レイヤー名「ラフ塗り」)
を「ラフ」レイヤーの下に追加します。



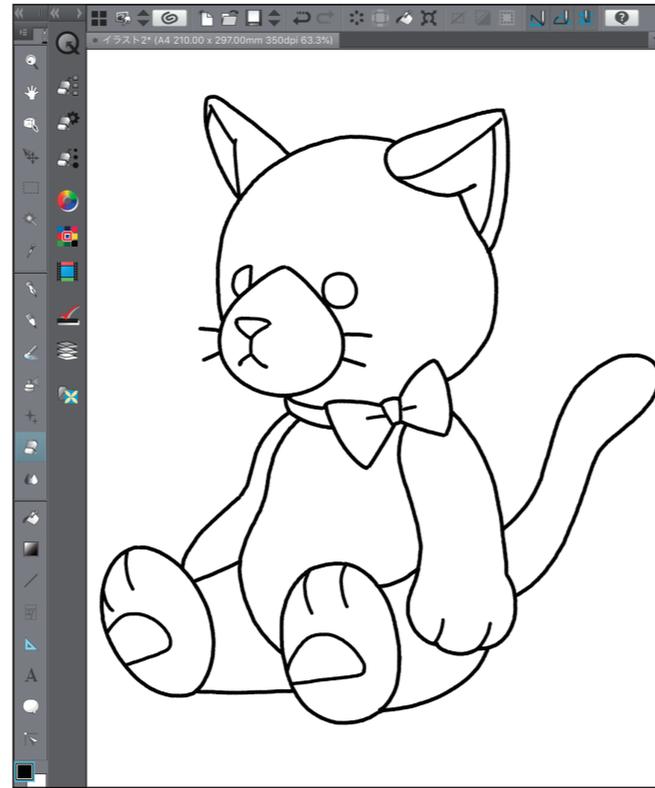
5

最後に「下絵」レイヤーの目のアイコンをタップして非表示にします。

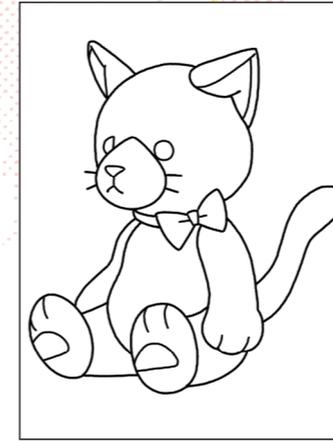


6

線画の完成です。



色を塗って完成させよう



Before 6-04.clip



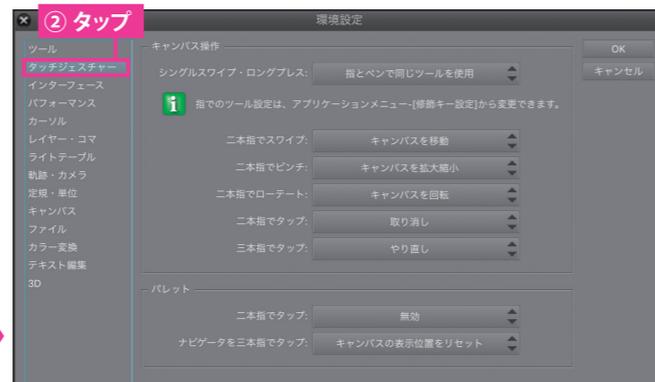
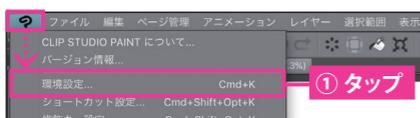
After 6-04a.clip

線画に色を塗りましょう。塗りつぶしの設定をすることで、効率的に色を塗ることができます。

Hint

タッチジェスチャーを変更する

[CLIP STUDIO PAINT]メニュー→[環境設定]の順にタップし、表示された[環境設定]ダイアログの[タッチジェスチャー]でタッチでの操作を変更することができます。



Step 01 色を塗る

[レイヤー]パレットを表示し、「線」レイヤーの下に新規レイヤーを追加します。名前を「塗り」に変更します。

Memo

「下絵」レイヤーを選択してから[新規ラスタレイヤー]アイコンをタップすると、「線」レイヤーの下に作成されます。

